

追加型投信／内外／資産複合

JPMベスト・インカム (年1回決算型)

第 9 期 交付運用報告書

(決算日：2023年9月15日)

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「JPMベスト・インカム(年1回決算型)」は、去る9月15日に第9期の決算を行いました。当ファンドは、世界の債券、株式、リート(REIT)、その他の有価証券を投資対象とし、高いインカム収益および値上がり益が期待できるアセットクラスに分散投資し、信託財産の中長期的な成長をはかることを目指します。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

第9期末(2023年9月15日)	
基準価額	10,714円
純資産総額	70,556百万円
第9期 作成対象期間(2022年9月16日～2023年9月15日)	
騰落率	△2.8%
分配金(税込)合計	0円

(注) 騰落率は収益分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注) 当報告書における比率は、表示桁未満四捨五入です。

(注) 「GIMベスト・インカム・マザーファンド(適格機関投資家専用)」は「ベスト・インカム・マザーファンド」または「マザーファンド」ということがあります。

(注) 「JPモルガン・インベストメント・ファンズ・グローバル・インカム・ファンド」は「グローバルインカムファンド」ということがあります。


〈お問い合わせ先〉

JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社

TEL 03-6736-2350

(受付時間は営業日の午前9時～午後5時)

am.jpmorgan.com/jp

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。運用報告書(全体版)の閲覧方法：上記URLにアクセス⇒画面右上の検索マークを選択⇒当ファンドの名称を入力して検索⇒運用報告書(全体版)を選択

JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社

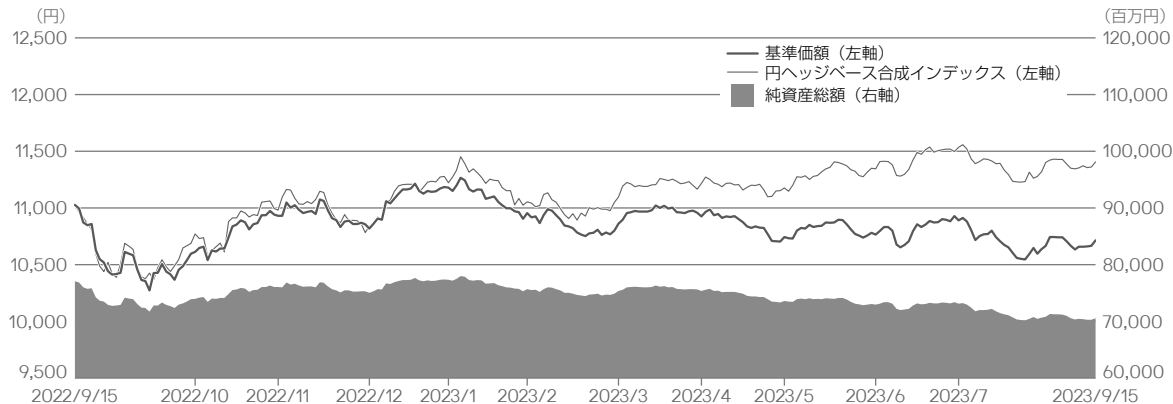
〒100-6432 東京都千代田区丸の内2丁目7番3号

東京ビルディング

運用経過の説明

◎基準価額等の推移

（2022年9月16日～2023年9月15日）



期首：11,026円

期末：10,714円（既払分配金(税込)：0円）

騰落率：△2.8%

(注) 基準価額は、信託報酬控除後です（以下同じ）。

(注) 円ヘッジベース合成インデックスはグラフの始点の日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

(注) 円ヘッジベース合成インデックスは、ブルームバーグ米国ハイイールド社債2%発行体キャップ・インデックス（為替ヘッジあり、円ベース）、MSCIワールド・インデックス（税引後配当込み、為替ヘッジあり、円ベース）、ブルームバーグ・グローバル・クレジット・インデックス（為替ヘッジあり、円ベース）に各40%、35%、25%投資したとみなして、委託会社で独自に計算して作成した指数です。MSCIワールド・インデックス（税引後配当込み、為替ヘッジあり、円ベース）は、MSCI Inc.が発表しております。同インデックスに関する情報の確実性および完結性をMSCI Inc.は何ら保証するものではありません。著作権はMSCI Inc.に帰属しております。「Bloomberg[®]」およびブルームバーグの各指数は、Bloomberg Finance L.P.および、同インデックスの管理者であるBloomberg Index Services Limited（以下「BISL」）をはじめとする関連会社（以下、総称して「ブルームバーグ」）のサービスマークであり、J.P.モルガン・アセット・マネジメントによる特定の目的での使用のために使用許諾されています。ブルームバーグはJ.P.モルガン・アセット・マネジメントとは提携しておらず、また、J.P.モルガン・アセット・マネジメントが設定する商品を承認、支持、レビュー、推奨するものではありません。ブルームバーグは、J.P.モルガン・アセット・マネジメントが設定する商品に関連するいかなるデータもしくは情報の適時性、正確性、または完全性についても保証しません。（以下同じ）。

(注) 円ヘッジベース合成インデックスは、当ファンドの主要投資対象であるJPモルガン・インベストメント・ファンズ・グローバル・インカム・ファンドのベンチマークであり、当ファンドのベンチマークではありません（以下同じ）。

◎基準価額の主な変動要因

当ファンドは、マザーファンドが投資するJPモルガン・インベストメント・ファンズ・グローバル・インカム・ファンドの組み入れを高位に保つことにより、実質的に世界の債券、株式、リート等の有価証券を投資対象とし、高いインカム収益や値上がり益が期待できるアセットクラスに分散投資を行いました。当期のグローバルインカムファンドにおいては、株式資産では、先進国株式や新興国株式などが、債券資産ではハイ・イールド債券などがパフォーマンスにプラスに寄与しました。なお、当ファンドでは、グローバルインカムファンドにおいて原則として為替ヘッジが行われているため為替変動リスクが軽減されています。

◎1万口当たりの費用明細

(2022年9月16日～2023年9月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	111	1.023	(a)信託報酬＝〔期中の平均基準価額〕×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(18)	(0.165)	投信会社 投資判断、受託会社に対する指図等の運用業務、目論見書、運用報告書等の開示資料作成業務、基準価額の計算業務、およびこれらに付随する業務の対価
（ 販 売 会 社 ）	(89)	(0.825)	販売会社 受益者の口座管理業務、換金代金等の支払い業務、交付運用報告書の交付業務、購入後の投資環境等の情報提供業務、およびこれらに付随する業務の対価
（ 受 託 会 社 ）	(4)	(0.033)	受託会社 信託財産の記帳・保管・管理業務、委託会社からの指図の執行業務、信託財産の計算業務、およびこれらに付随する業務の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.006	(b)その他費用＝ $\frac{\text{〔期中のその他費用〕}}{\text{〔期中の平均受益権口数〕}}$
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.004)	監査費用 信託財産の財務諸表の監査業務の対価として監査法人に支払われる費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.002)	その他 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	112	1.029	
期中の平均基準価額は、10,819円です。			

(注) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の円未満は四捨五入です。

(注) 比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注) 各項目の費用はマザーファンドが組み入れている投資信託証券（投資信託受益証券および投資証券）が支払った費用を含んでおらず、上記以外に間接的に負担している主な費用として、マザーファンドが投資している投資信託証券には以下のものがあります。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における費用等については「組入上位ファンドの概要」に表示しています。

① JPMグローバル・インカム・ファンド（1クラス）（JPM Global Income Fund I Class）

運用報酬：日々の純資産に対して年率0.60%

事務管理報酬：実費（ただし、純資産に対して年率0.11%を上限とします。）

その他費用：有価証券の売買にかかる費用・税金、外貨建資産の保管費用、臨時で発生する費用、その他の税金等

② GIMジャパン・マネーパール・ファンドF（適格機関投資家専用）

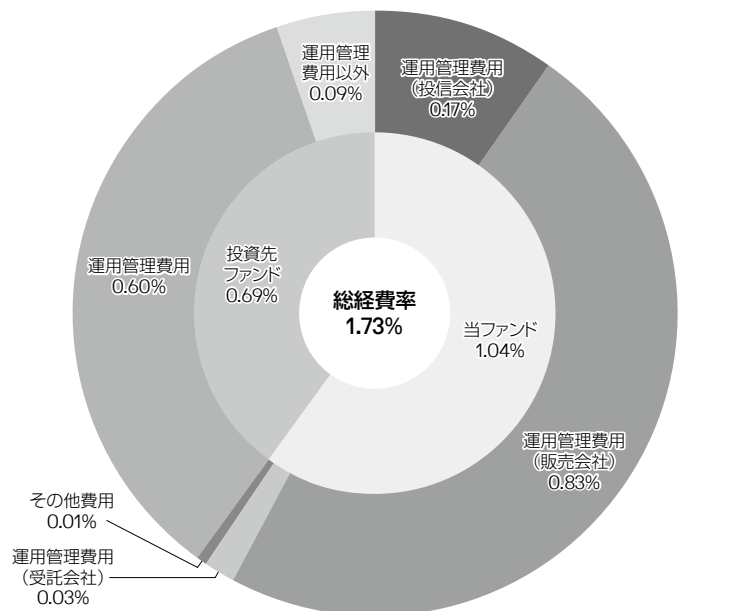
信託報酬：年率0.1045%（税抜0.095%）

監査費用：年率0.022%（税抜0.02%）ただし、年間330万円（税抜300万円）を上限とします。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.73%です。



（単位：％）

総経費率 (①+②+③)	1.73
①当ファンドの費用の比率	1.04
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.60
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.09

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、ベスト・インカム・マザーファンドにおいて組入れている投資信託証券です。

(注) それぞれの投資先ファンドの費用は以下簡便法により算出した合計値です。

JPM グローバル・インカム・ファンド (1クラス)：当ファンドの目録見書に記載した当該投資先ファンドの運用管理費用を上記②とし、当該投資先ファンドの直近の計算期末時点におけるTER（総費用率）から上記②を差し引いた費用を上記③とする簡便法

GIM ジャパン・マネーブル・ファンドF（適格機関投資家専用）：当該投資先ファンドの直近の計算期末時点における運用報告書1万口当たりの費用明細において用いた簡便法

(注) GIM ジャパン・マネーブル・ファンドF（適格機関投資家専用）の費用は、GIM マネーブル・マザーファンド（適格機関投資家専用）が支払った費用を含みます。

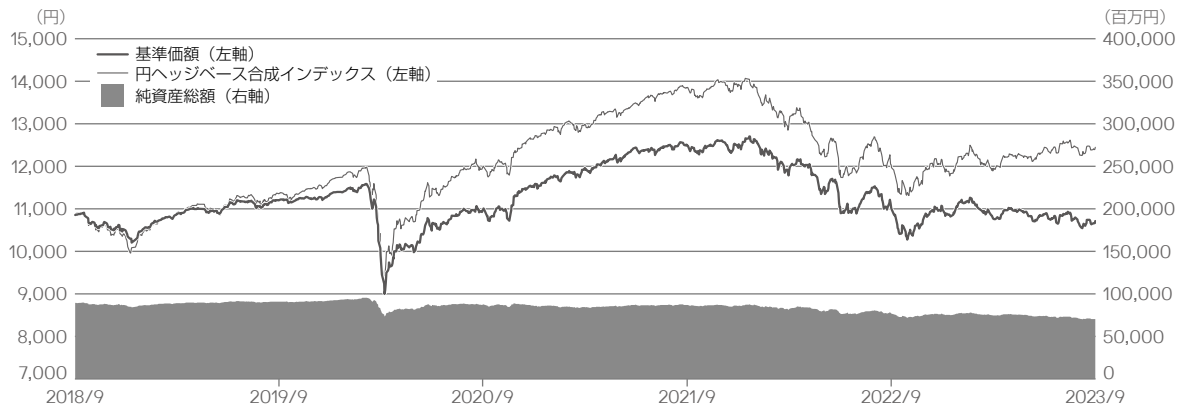
(注) 当ファンドの費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

◎最近5年間の基準価額等の推移

(2018年9月19日～2023年9月15日)



(注) 円ヘッジベース合成インデックスはグラフの始点の日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

	2018年9月18日 決算日	2019年9月17日 決算日	2020年9月15日 決算日	2021年9月15日 決算日	2022年9月15日 決算日	2023年9月15日 決算日
基準価額(円)	10,854	11,196	10,964	12,506	11,026	10,714
期間分配金合計(税込)(円)	—	0	0	0	0	0
基準価額騰落率(%)	—	3.2	△2.1	14.1	△11.8	△2.8
円ヘッジベース合成インデックス 騰落率(%)	—	4.6	5.5	15.6	△13.1	3.4
純資産総額(百万円)	89,256	90,762	87,323	87,044	77,054	70,556

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

【投資環境】

○主要株式市況

◆世界株式市場は上昇しました。

- 期首から10月中頃にかけては、主要中央銀行がインフレ率の抑制を優先する姿勢を継続し、株価は下落しました。その後、11月にかけて、中国における新型コロナウイルス関連の規制緩和が発表され中国経済再開への期待が高まったことを受けて、株価は上昇しました。また、インフレ率が鈍化し始めたことから、利上げペースの減速への期待が高まり、市場の追い風となりました。しかし、12月には、主要中央銀行による利上げが継続したことや強弱入り混じる経済指標の結果を受けて、株価は下落しました。
- 2023年1月は、インフレ率が低下傾向であったことや利上げサイクルが終わりに近づいていることへの期待の高まり、中国経済再開などを背景に、株式市場は堅調に推移したものの、2月は一転してインフレ率の粘性性が再認識されたことなどをを受けて、利上げ継続への懸念が再燃し、株価は下落しました。
- 3月から5月にかけては、シリコンバレー銀行破綻に端を発する金融不安や債務上限問題の不透明感などから下落する場面もあったものの、堅調な企業決算などが市場の支援材料となりました。
- 6月から7月にかけては、債務上限問題が解決したことや、堅調な経済指標などから景気の改善が意識され、株価は堅調に推移しました。
- その後期末にかけては、堅調な雇用と消費の統計からの金融引き締め長期化が意識されたことなどが重石となり、株式市場は概ね軟調に推移しました。

*世界株式市場の動向は、MSCIワールド・インデックス（価格指数、現地通貨ベース）を使用しています。MSCIワールド・インデックスは、MSCI Inc.が発表しております。同指数に関する情報の確実性および完結性をMSCI Inc.は何ら保証するものではありません。著作権はMSCI Inc.に帰属しております。

○主要債券市況

◆米国ハイ・イールド債券市場は上昇しました。

●期首から2023年3月半ばにかけては、FRB（米連邦準備制度理事会）の利上げペース減速の期待が高まったことなどを背景に、利回りは概ね低下基調で推移しました。9月末頃にかけて、FRBがインフレ率の抑制を優先する姿勢を示し、利回りは上昇しました。その後2023年1月にかけては、利上げサイクルの終わりが意識され、利回りは低下しました。しかし、3月半ばにかけて、粘着性が高いインフレ率や一部の堅調な経済指標を受けて、再び利上げ継続懸念が高まり、利回りは上昇しました。

●その後期末にかけては、米欧の中央銀行のタカ派的な姿勢を受けて利回りが上昇する局面が見られたほか、米雇用統計などが利回りの変動要因となった中、利回りは一進一退となりました。

*米国ハイ・イールド債券市場の動向は、ブルームバーグ・米国ハイ・イールド社債2%発行体キャップ・インデックス（米ドルベース）を使用しています。

○為替市況

為替市場では、英ポンドやスイス・フラン、ユーロなど多くの通貨が円に対して上昇しました。

【運用経過】

1) 基準価額の推移

○当ファンド：基準価額の騰落率は-2.8%となりました。

○組入ファンド：マザーファンドの基準価額の騰落率は-1.8%となりました。

2) 基準価額の主な変動要因

当ファンドは、マザーファンドが投資するJPモルガン・インベストメント・ファンズ・グローバル・インカム・ファンドの組み入れを高位に保つことにより、実質的に世界の債券、株式、リート等の有価証券を投資対象とし、高いインカム収益や値上がり益が期待できるアセットクラスに分散投資を行いました。当期のグローバルインカムファンドにおいては、株式資産では、先進国株式や新興国株式などが、債券資産ではハイ・イールド債券などがパフォーマンスにプラスに寄与しました。なお、当ファンドでは、グローバルインカムファンドにおいて原則として為替ヘッジが行われているため為替変動リスクが軽減されています。

3) ポートフォリオについて

○当ファンド

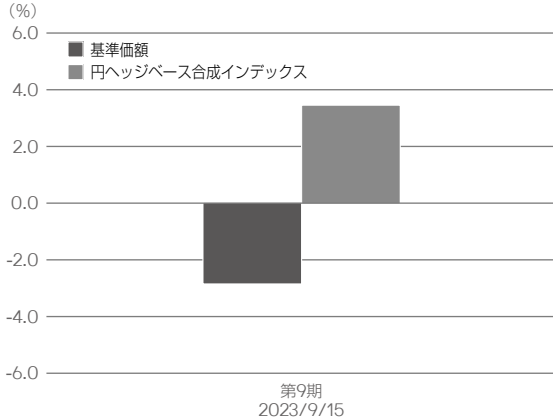
マザーファンドの受益証券を高位に組み入れました。

○マザーファンド

グローバルインカムファンドにおいては、先進国投資適格債券などの投資比率が上昇した一方、優先株式等やカバードコールなどの投資比率が低下しました。

◎当ファンドのベンチマークとの差異

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



(注) 当ファンドはベンチマークがないため、ベンチマークに代えて当ファンドの主要投資対象であるJPモルガン・インバーストメント・ファンズグローバル・インカム・ファンドのベンチマークとの対比を記載しています。

◎分配金

基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案し、無分配としました。留保益の運用につきましては、委託会社の判断に基づき元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税込)

項 目	第9期	
	2022年9月16日～2023年9月15日	
当期分配金 (対基準価額比率)		— —%
当期の収益		—
当期の収益以外		—
翌期繰越分配対象額		3,467

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 円未満は切捨てです。当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の見通しと運用方針

◎今後の見通し

- ◆当ファンドでは、引き続きメインシナリオとして2023年は潜在成長率を下回る成長とインフレ率の低下を見込んでいます。一部経済指標は経済の底堅さを示しており、景気後退の確率は幾分低下した可能性があるものの、依然として先行きは不透明であり、ポートフォリオ構築は慎重な姿勢を維持しています。
- ◆このような先行き不透明な環境下では、一部の資産に集中的に投資をするリスクは高いため、財務健全性が高い債券や株式にバランスよく分散投資をすることが有効だと考えています。
- ◆マザーファンドが投資する外国投資証券の平均利回りは、過去10年間の中でも比較的高水準で推移しており、中長期的にパフォーマンスを下支えすると見えています。また、債券資産の利回り回復に伴って、高配当株式などに加えて、債券資産の利回りが期待でき、ポートフォリオ内で分散効果が生まれると考えています。

◎今後の運用方針

- 当ファンド
マザーファンドの受益証券を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長をはかることを目的として運用を行います。
- マザーファンド
グローバルインカムファンドを主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長をはかることを目的として運用を行います。今後もグローバルインカムファンドを通じて世界の債券、株式、リート、その他の有価証券を投資対象とし、高いインカム収益および値上がり益が期待できるアセットクラスに分散投資を行う方針です。

お知らせ

- ・2022年12月15日付で、計算期間の最初の6ヵ月終了日が休業日の場合は翌営業日を当該終了日とする変更を行うため、また資金動向、市況動向、経済情勢、投資環境等の変化に対応するために、やむを得ない事情がある場合には投資態度にそった運用が行えない場合がある旨の記載を追加するため、信託約款に所要の変更を行っております。

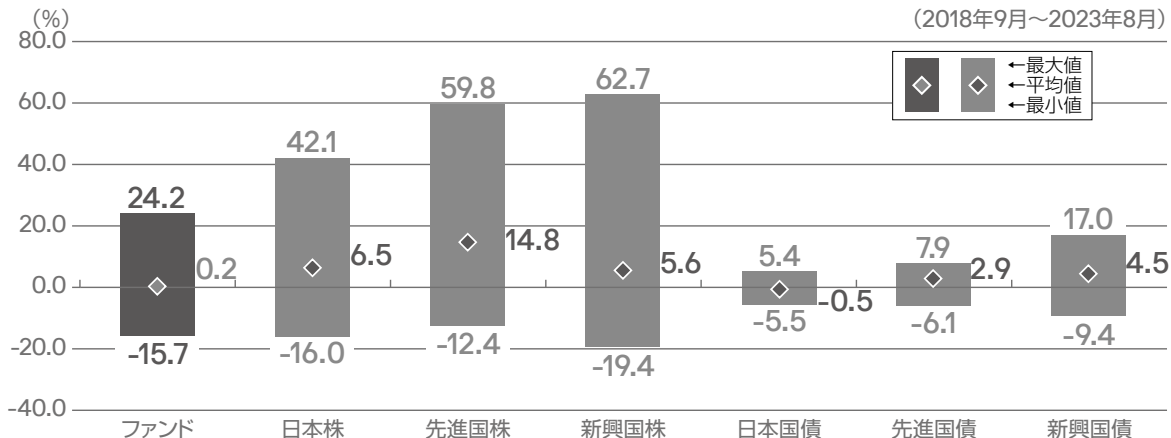
当該投資信託の概要と仕組み

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2014年9月17日から2034年9月15日（休業日の場合は翌営業日）までです。	
運用方針	マザーファンドを通じ、主として世界の債券、株式、リート（REIT）、その他の有価証券を主要投資対象とする外国投資法人が発行する外国投資証券に実質的に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。	
主要投資 （運用）対象	当ファンド	GIMベスト・インカム・マザーファンド（適格機関投資家専用）受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	以下の2ファンドを主要投資対象とします。 ①JPモルガン・インベストメント・ファンズグローバル・インカム・ファンド 世界の債券、株式、リート（REIT）、その他の有価証券を主要投資対象とします。 ②GIMジャパン・マネープール・ファンドF（適格機関投資家専用） GIMマネープール・マザーファンド（適格機関投資家専用）を通じ、円建ての公社債を主要投資対象とします。
組入制限および 運用方法	当ファンド	マザーファンドを通じて運用を行います。投資先ファンドを通じて債券、株式、リート、その他の有価証券へ投資します。為替ヘッジは行いません。株式への直接投資は行いません。外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。投資信託の受益権等の投資信託証券への投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	世界の債券、株式、リート（REIT）、その他の有価証券を投資対象とし、高いインカム収益および値上がり益が期待できるアセットクラスに分散投資します。世界の債券、株式、リート、その他の有価証券に投資するグローバルインカムファンドの組入比率を高位に保つとともに、円建ての公社債に投資するマネープール・ファンドにも必ず投資します。 市場環境等の変化に応じて組入れるアセットクラスおよびその配分を機動的に変更します。マクロ経済の予測や、各アセットクラスの評価・分析の情報をもとに、市場環境等の変化に応じて、インカム収益および値上がり益が最も期待されるアセットクラスを選択し、その配分を機動的に変更します。J.P.モルガン・アセット・マネジメント ^(※) のグローバルなネットワークを活用します。ファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。為替ヘッジは行いません（投資先ファンドであるグローバルインカムファンドにおいては、原則として為替ヘッジを行います）。株式への直接投資は行いません。なお、投資先ファンドを通じて債券、株式、リート、その他の有価証券へ投資します。外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。投資信託の受益権等の投資信託証券への投資割合には制限を設けません。
分配方針	決算日（原則として9月15日）に基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。	

(※) J.P.モルガン・アセット・マネジメントは、JPモルガン・チェース・アンド・カンパニーおよび世界の関連会社の資産運用ビジネスのブランドです。

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較

年間騰落率（毎月末時点）の平均と振れ幅を、ファンドと代表的な資産クラスとの間で比較したものです。



(注)

○ファンドの年間騰落率（毎月末時点）は、毎月末とその1年前における基準価額を対比して、その騰落率を算出したものです。（月末が休日の場合は直前の営業日を月末とみなします。設定から1年未満の時点では算出されません。）

○基準価額は、信託報酬控除後です。

○代表的な資産クラスの年間騰落率（毎月末時点）は、毎月末とその1年前における下記の指数の値を対比して、その騰落率を算出したものです。（月末が休日の場合は直前の営業日を月末とみなします。）

○ファンドと代表的な資産クラスとの年間騰落率の比較は、上記の5年間の毎月末時点における年間騰落率を用いて、それらの平均・最大・最小をグラフにして比較したものです。

○ファンドは、代表的な資産クラスの全てに投資するものではありません。

○上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

○代表的な資産クラスを表す指数

日本株・・・TOPIX（配当込み）

先進国株・・・MSCIコクサイ指数（配当込み、円ベース）

新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債・・・NOMURA-BPI（国債）

先進国債・・・FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債・・・JPモルガンGBI-エマージング・マーケット・グローバル（円ベース）

(注) 海外の指数は、為替ヘッジを行わないものとして算出されたものです。なお、MSCIコクサイ指数（配当込み、円ベース）およびMSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、委託会社で円換算しています。

TOPIX（東証株価指数）は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標準又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、TOPIXの指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。本商品は、JPXにより提供、保証又は販売されるものではなく、本商品の設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負いません。

MSCIコクサイ指数およびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が発表しています。同インデックスに関する情報の確実性および完結性をMSCI Inc.は何ら保証するものではありません。著作権はMSCI Inc.に帰属しています。MSCIコクサイ指数（配当込み、円ベース）およびMSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、同社が発表したMSCIコクサイ指数（配当込み、米ドルベース）およびMSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）を委託会社にて円ベースに換算したものです。

NOMURA-BPI（国債）は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が作成している指数で、当該指数に関する一切の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しております。また、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、当該インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。

FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

JPモルガンGBI-エマージング・マーケット・グローバルは、JPモルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが発表しており、著作権はJPモルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しています。

当ファンドのデータ（2023年9月15日）

◎組入資産の内容

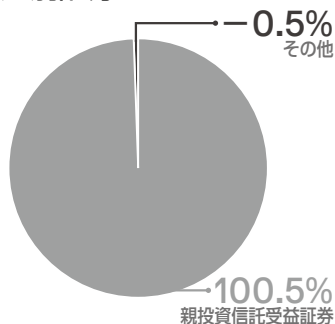
○組入ファンド等

ベスト・インカム・マザーファンド	100.5%
その他	△0.5%
組入銘柄数	1銘柄

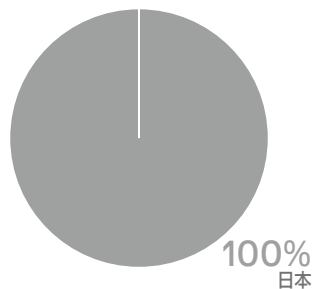
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) その他は現金・預金・その他資産（負債控除後）です（以下同じ）。

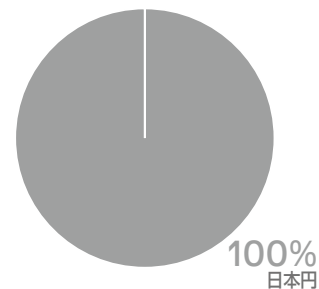
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分は発行国または地域を表示しています。なお、当ファンドの実質的な投資内容は、次ページ以降をご参照ください。

◎純資産等

項 目	当期末
	2023年9月15日
純 資 産 総 額	70,556,753,282円
受 益 権 総 口 数	65,854,770,080口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額	10,714円

(注) 当期中における追加設定元本額は4,159,747,302円、同解約元本額は8,188,906,931円です。

◎組入上位ファンドの概要

◆ベスト・インカム・マザーファンド（2023年9月15日）

○基準価額等の推移



(注)円ヘッジベース合成インデックスは、当ファンドの主要投資対象であるJPモルガン・インベストメント・ファンズ・グローバル・インカム・ファンドのベンチマークであり、当ファンドのベンチマークではありません。グラフの始点の日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

○1万口当たりの費用明細

(2022年9月16日～2023年9月15日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) その他費用 (その他)	0 (0)	0.001 (0.001)
合計	0	0.001

期中の平均基準価額は、11,800円です。

(注) 項目の概要については、前記当ファンドに投資している投資信託の運用報告書「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

(注) 各項目は簡便法により算出し、円未満は四捨五入です。

(注) 比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○組入上位10銘柄

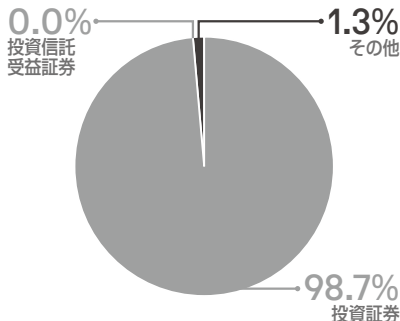
銘柄名	業種 / 種別等	通貨	国(地域)	比率
JPMI GLOBAL INCOME FUND JPY	投資証券	日本円	ルクセンブルク	98.7%
GIMジャパン・マネープール・ファンドF (適格機関投資家専用)	投資信託受益証券	日本円	日本	0.0
組入銘柄数	2銘柄			

(注) 国(地域)は発行国または地域を表示しています。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しています。

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

○資産別配分

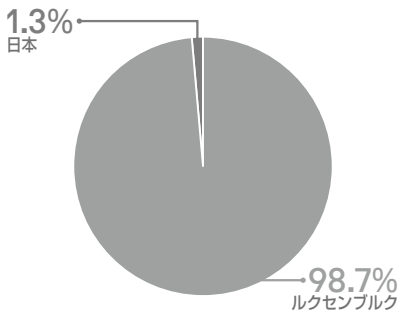


(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

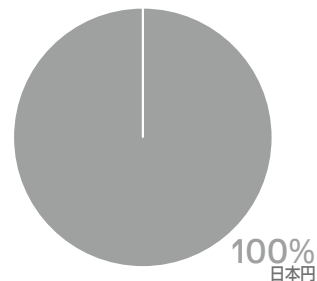
(注) その他は現金・預金・その他資産(負債控除後)です。

(注) 国別配分は発行国または地域を表示しています。

○国別配分



○通貨別配分

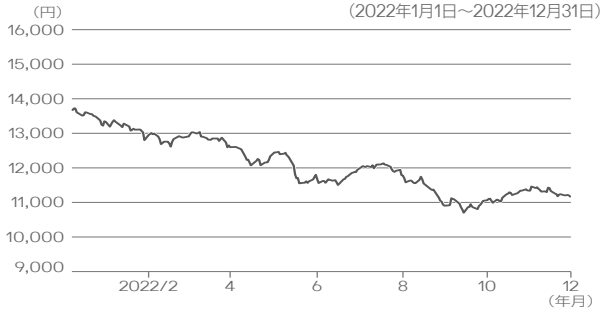


◎組入上位ファンドの概要

◆JPモルガン・インベストメント・ファンズ-グローバル・インカム・ファンド（2022年12月31日） JPMグローバル・インカム・ファンド（Iクラス）

世界の債券、株式、リート（REIT）、その他の有価証券を主要投資対象とします。

◎基準価格の推移



◎直近計算期間におけるTER（総費用率）

0.69%

(注) TER（総費用率）は、運用にかかる費用の合計をファンドの純資産の日次平均に対する比率で表したものです。運用にかかる費用の合計には、運用および顧問報酬、保管報酬、税金、その他費用が含まれております。当座貸越利息と実績報酬は計算対象から除いております。

(注) 1万口当たりの費用明細が取得できないため、TER（総費用率）を表示していません。

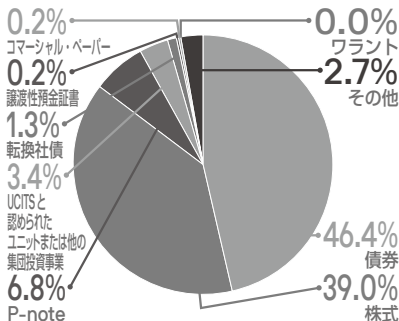
◎組入上位10銘柄

銘柄名	国(地域)	資産	比率
JPMorgan USD Liquidity LVNAV Fund	ルクセンブルク	UCITS	3.4%
UBS AG, 144A 9% 06/04/2023	アメリカ	P-note	1.0
Societe Generale SA 9% 11/04/2023	アメリカ	P-note	1.0
National Bank of Canada 9% 04/04/2023	アメリカ	P-note	1.0
BNP Paribas SA, 144A 8.5% 16/03/2023	アメリカ	P-note	1.0
BNP Paribas SA, 144A 9% 23/03/2023	アメリカ	P-note	1.0
Barclays Bank plc 8.5% 09/03/2023	イギリス	P-note	1.0
Societe Generale SA 9% 03/01/2023	アメリカ	P-note	0.9
US Treasury 0.125% 31/01/2023	アメリカ	債券	0.8
AbbVie, Inc.	アメリカ	株式	0.5
組入銘柄数			3,234銘柄

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しています。

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

◎資産別配分



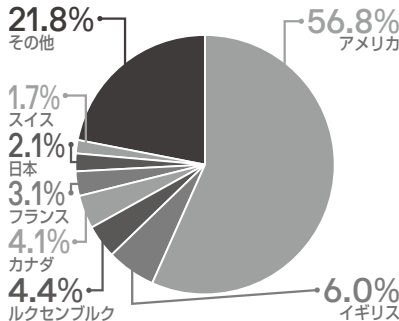
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 資産別配分のその他は現金・預金・その他資産（負債控除後）です。国別配分のその他は現金・預金・その他資産（負債控除後）を含みます。

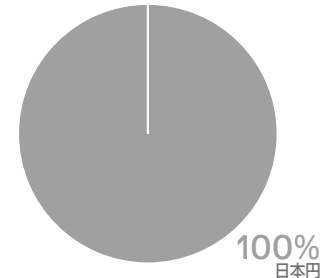
(注) 国別配分は、監査済み年次報告書にもとづき表示しています。

(注) 当ファンドの通貨別配分は、監査済み年次報告書に開示されていないため、当ファンドの建簿通貨を表示しています。

◎国別配分



◎通貨別配分



◎組入上位ファンドの概要

◆GIM ジャパン・マネーパブル・ファンドF（適格機関投資家専用）（2023年1月16日）

GIM ジャパン・マネーパブル・ファンドF（適格機関投資家専用）は、GIM マネーパブル・マザーファンド（適格機関投資家専用）を主要投資対象とします。

○基準価額の推移



○1万口当たりの費用明細

(2022年1月15日～2023年1月16日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 信託報酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	10 (7) (1) (2)	0.105 (0.072) (0.011) (0.022)
(b) その他費用 (監 査 費 用) (そ の 他)	7 (2) (5)	0.073 (0.020) (0.054)
合 計	17	0.178

期中の平均基準価額は、9,976円です。

(注) 項目の概要については、前記当ファンドに投資している投資信託の運用報告書「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

(注) 各項目は簡便法により算出し、円未満は四捨五入です。

(注) 比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○マザーファンドの組入上位10銘柄

銘柄名	業種 / 種別等	通貨	国(地域)	比率
第141回利付国債(5年)	国債証券	日本円	日本	29.2%
第340回利付国債(10年)	国債証券	日本円	日本	13.9
第353回利付国債(10年)	国債証券	日本円	日本	6.4
第116回利付国債(20年)	国債証券	日本円	日本	2.7
第154回利付国債(20年)	国債証券	日本円	日本	1.7
第129回利付国債(20年)	国債証券	日本円	日本	0.9
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—
組入銘柄数		6銘柄		

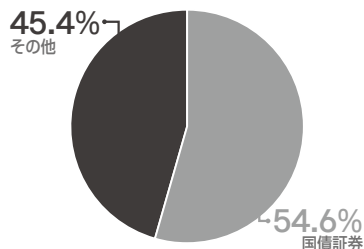
(注) 国(地域)は発行国または地域を表示しています。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しています。

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) ファンドはマザーファンドを通じて投資を行うため、マザーファンドの投資銘柄をファンドが直接保有しているものとみなし、ファンドの純資産総額に対する投資比率として計算しています(以下同)。

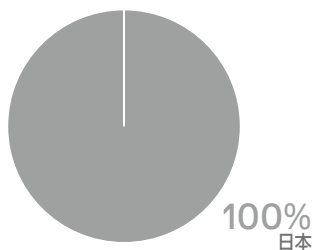
○資産別配分



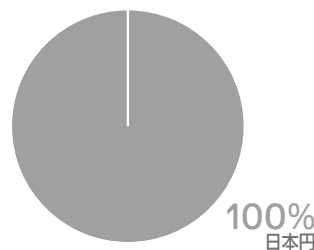
(注) 国別配分は発行国または地域を表示しています。

(注) その他は現金・預金・その他資産(負債控除後)です。

○国別配分



○通貨別配分



余白

